

5 徳島県立文学書道館【予算 22,145千円】

文学・書道資料の収集・保存、調査研究に努めるとともに、その成果を展示や催し、教育普及事業等に活かし、広く県内外から親しみ利用される施設となるよう魅力ある事業展開を図る。

(1) 顕彰、表彰事業【予算 1,230千円】

	事業名	概要	予算額(円)	備考
1	第13回とくしま文学賞	<p>広く県民から文芸作品(10部門)を募集し、発表の場を提供することにより、文芸活動の活性化、県民文化の向上を図る。各部門の入選作品は「文芸とくしま」に掲載し、紹介する。</p> <p>応募締切:9月30日(水)当日消印有効 発表:12月中旬(新聞紙上・館内掲示・HP) 表彰式:平成28年2月11日(木・祝)</p>	1,230,000	
	小計		1,230,000	

(2) 年鑑編集・刊行事業【予算 1,095千円】

	事業名	概要	予算額(円)	備考
1	ことのは文庫 「文学に描かれた戦争」	<p>戦後70年に合わせて瀬戸内寂聴、森内俊雄、富士正晴、海野十三ら徳島ゆかりの作家の戦争にちなんだ作品を収録する。</p> <p>単行本サイズ 1,000部</p>	800,000	
2	研究紀要「水脈」13号	<p>館が所蔵する文学者や書家に関する作品や資料等の調査研究を行い、その成果を紹介するため刊行する。</p> <p>B5版サイズ 700部</p>	295,000	
	小計		1,095,000	

(3) 教育普及育成事業【予算 1,515千円】

	事業名	概要	予算額(円)	備考
1	文学講座 寂聴文学に親しむ輪読講座	<p>あまり知られていない寂聴の掌編小説を紹介し、新たな魅力に触れる機会とする。また音読により、読みを確かにし、深く味わう時間を設ける。</p> <p>日時:9月～12月(全4回・各水曜) 会場:講座室</p>	10,000	
2	文学講座 芸術・文化を語る	<p>徳島ゆかりの芸術家・研究者・文化人に専門分野の話をしていただき、平和で心豊かな社会の創造について考える。</p> <p>日時:4月～7月(全4回・各土曜) 会場:講座室</p>	180,000	
3	文学講座 言の葉テーマ朗読会	<p>展覧会のテーマに応じた文章を、講座生の中から希望者8人が5分ずつ読み、一般に公開する。</p> <p>日時:5月～1月(全3回) 会場:講座室</p>	10,000	

(3) 教育普及育成事業

	事業名	概要	予算額(円)	備考
4	文学講座 親子で楽しむ絵本づくり	県内で活躍している児童文学作家による絵本づくり講座。想像力を働かせる楽しさや物語を創る喜びを体験しながら一冊の絵本を作る。 日時:8月(全2回・各日曜) 会場:講座室	70,000	
5	文学講座 若い人たちのための小説家養成講座	18～39歳に限定した小説の実作講座。講師は自らが作家であり、実作指導に定評のある四国大学の佐々木義登氏。若い作家の養成をめざす。 日時: 8月～9月、2月～3月(全9回・各土曜) 会場:講座室	150,000	
6	文学講座 徳島の文学を楽しむX	徳島ゆかり作家の作品や、徳島を舞台にした作品を中心に紹介。優れた文学作品を掘り起こし、文学を楽しむ手立てとする。 日時:9月～12月(全4回・各水曜) 会場:講座室	60,000	
7	文学講座 秋の文学講演会	現在、第一線で活躍している作家や詩人、歌人、俳人などを招き、これまでの歩みや自作について話してもらい、文学についての理解を深める。 日時:11月(全2回) 会場:ギャラリー	500,000	
8	第14回言の葉朗読会	朗読の質の向上をめざす人たちに舞台を提供し、朗読を聞くことが好きな人たちに楽しんでもらう。各自が選んだ文学作品を5分以内で朗読する。 日時:9月26日(土) 会場:ギャラリー	10,000	
9	書道講座 おもしろい漢字の話	漢字の歴史や成り立ちなどを学ぶ講座。子供から大人までが参加してもらえるよう、夏休みに開催する。 日時:未定(全1回) 会場:講座室	171,000	
10	書道講座 美しいペン字	文字にはそれぞれ固有の形の取り方・結構法がある。それを理解し練習することで実生活に生かせるペン字の美しい書き方を学ぶ。 日時:未定(全2回) 会場:実習室	43,000	
11	書道講座 小さい印を作ろう	名前の一字を12mm角の小さい石材印に刻し、実用的な印を制作する。25、26年度と開催したが、受講希望者が多かったため27年度も実施する。 日時:未定(全2回) 会場:実習室	44,000	

(3) 教育普及育成事業

	事業名	概要	予算額(円)	備考
12	書道講座 祈りの書～写経	写経の歴史や形式、小筆の基本的な筆遣いを学び写経に親しむ。 日時:未定(全3回) 会場:実習室	98,000	
13	書道講座 干支印を作ろう	年賀状に使える来年度の干支印を、3cm角程の印材に刻す。筆とは違った視点で書への理解と興味を深める。 日時:未定(全2回) 会場:実習室	44,000	
14	書道講座 書き初め 大字に挑戦!	小学生対象の講座。新年の書き初めにちなんで、漢字一字を大筆で70cm×70cmの紙に書き、大字の楽しさを知ってもらう。 日時:1月9日(土) 会場:実習室・講座室	76,000	
15	書道講座 漢字の書法を学ぶ 篆書	篆書の知識と、他の書体とは異なる筆遣いを学ぶ。篆書を知ることによって漢字のもつ構築美、構造を知る。 日時:未定(全2回) 会場:実習室	49,000	
	小計		1,515,000	

(4) 展示事業【予算 18,305千円】

	事業名	概要	予算額(円)	備考
1	文学常設展 瀬戸内寂聴記念室 (常設展示事業)	瀬戸内寂聴の人生をたどりながら寂聴文学を紹介する。嵯峨野「寂庵」を模した書斎や、心和ませる日本庭園を設置している。年数回の展示替えを行っている。 期間:通年 会場:瀬戸内寂聴記念室	—	
2	文学常設展 文学常設展示室 (常設展示事業)	徳島の人・場所・文化が織りなす文学回廊。徳島にゆかりの深い文学者とその作品、徳島を描いた文学作品などをさまざまな角度から感じとれる展示としている。展示室内では、年2回の小テーマ展も開催している。 期間:通年 会場:文学常設展示室	—	
3	文学常設展 収蔵展示室 (常設展示事業)	瀬戸内寂聴寄贈による日本近代女性史の貴重な研究資料など、豊富な資料を保管している収蔵庫内をガラスウォールを通して展示している。また、特別展に関連した展示や収蔵品を紹介する。 期間:通年 会場:収蔵展示室	—	

(4) 展示事業

	事業名	概要	予算額(円)	備考
4	書道常設展 書道美術常設展示室 (常設展示事業)	収蔵品の中から、徳島にゆかりのある書家の作品を中心に展示している。また、小坂奇石の息づかいが感じられる書齋を再現している。 年3回展示替えをし、豊富な作品を広く紹介する。 期間: 通年 会場: 書道美術常設展示室	—	
5	文学特別展 寂聴 愛のことば展 (特別展示事業)	瀬戸内寂聴の小説、随筆、講演、インタビュー等から、さまざまな愛情に満ちた言葉を選び出し、写真とともにパネル展示する。また作品等にまつわる、単行本や原稿、ゆかりの品もあわせて紹介する。 期間: 4月25日～5月31日 33日間 会場: 特別展示室・ギャラリー	2,600,000	
6	書道特別展 —とてつもない書— 米山の大字 (特別展示事業)	三輪田米山の書は、造形主義的な書を開拓していった近代の書の中にあつて異彩を放つものである。時代の潮流に惑わされず、またこれまでの書法にとらわれないもので、古今見られない独創的な書を残した。書としてあるべき根源的な主張を強烈に発し、本質的な魅力に溢れる米山の書を、大阪新美術館建設準備室の特別協力と米山顕彰会の協力を得て紹介する。 期間: 6月20日～8月2日 38日間 会場: 特別展示室・書道美術常設展示室	3,218,000	
7	文学特別展 戦後70年 文学に描かれた戦争 —徳島ゆかりの作家を中心に (特別展示事業)	瀬戸内寂聴、森内俊雄、富士正晴、海野十三、庄野潤三など、徳島ゆかりの文学者が戦争体験をもとに執筆した作品を紹介する。県民の戦争体験を風化させず、戦争の悲惨さや平和の大切さについて考える。 期間: 8月7日～9月23日 41日間 会場: 特別展示室・ギャラリー	2,000,000	
8	書道特別展 小坂奇石の大作展 (特別展示事業)	小坂奇石は独創的で他の追隨を許さない独自の書風を確立し、昭和を代表する書家である。当館では、遺族より寄贈された作品約340点の傑作を収蔵しており、毎年それらの中から選りすぐりの作品を紹介している。今回は、奇石の真骨頂といえる迫力のある大字を展示する。 期間: 10月3日～11月11日 34日間 会場: 特別展示室・ギャラリー	2,286,000	
9	文学特別展 柴門ふみ展 (特別展示事業)	徳島出身の漫画家・エッセイスト、柴門ふみの展覧会。直筆原稿などの資料とともに、作品を紹介する。 瀬戸内寂聴「美は乱調にあり」を漫画化するなど、文学にも造詣の深い柴門氏をより多くの人に知ってもらおう。 期間: 12月19日～2月7日 38日間 会場: 特別展示室・ギャラリー	3,280,000	

(4) 展示事業

	事業名	概要	予算額(円)	備考
10	書道特別展 屏風展—中林梧竹を中心として— (特別展示事業)	中林梧竹は、近代書道史に名を連ね、明治の三筆に挙げられる書家である。本県では、海老塚的伝氏より寄贈の傑作を中心に約300点を県指定有形文化財として収蔵しており、毎年、梧竹の展覧会を開催している。今回展では、梧竹の屏風を中心として日下部鳴鶴ほかの屏風も展示し、それぞれの書風の違いを紹介するとともに、屏風という様式を通して書を楽しんでもらう。 期間:2月16日～3月21日 31日間 会場:特別展示室・書道美術常設展示室	2,250,000	
11	文学企画展 羽尻利門 絵本の世界展 (企画展示事業)	阿南市在住の新進イラストレーターの絵本原画を展示紹介する。 絵本に親しむとともに、絵ができるまでの過程を紹介する。また、ギャラリートークや作者による読み語りをし、作者の人となりにも触れ、深く作品を理解する機会とする。 期間:6月2日～10日 8日間 会場:ギャラリー	900,000	
12	文学収蔵品展 橋本夢道展 (企画展示事業)	俳人、橋本夢道直筆の軸や色紙、短冊を展覧し、夢道の俳句作品を独特の書とともに楽しんでもらう。 期間:6月2日～10日 8日間 会場:特別展示室	100,000	
13	書道企画展 徳島県高校生 第5回書道席書創作コンクール展 (企画展示事業)	5回目となる書道コンクール。県内の高校生より「漢字」「仮名」「漢字仮名交じり」の3分野の書作品を募集し、予選通過者による本選を実施する。本選は、当日に与えられた課題を当館にて席書する。席書作品(45点程度)はすべて展示し、表彰する。 期間:12月5日～13日 8日間 会場:ギャラリー	825,000	
14	書道企画展 「今年の一文字」展2015 (企画展示事業)	「一年を振り返って、今年を象徴する一字、または思い出に残る漢字一字」を募集し、応募のあった全ての作品をロビーに展示する。作品は、葉書大とし、毛筆で書いたものとする。 期間:12月12日～27日 13日間 会場:1階ロビー	47,000	
15	文学収蔵品展 野上彰と「銀座の雀」展 (企画展示事業)	野上彰の遺族から新たに寄贈された「銀座の雀」の歌詞の直筆額を、「銀座の雀」誕生のエピソードや当時の模様とともに紹介する。 期間:1月23日～3月27日 56日間 会場:文学常設展示室	180,000	

(4) 展示事業

	事業名	概要	予算額(円)	備考
16	書道企画展 紙にこだわった作品展 (企画展示事業)	書の用具の一つである「紙」に焦点をあてた展覧会。県内の書家に書作品を揮毫してもらい、作品と使用した紙、作者による作品の見どころを展示する。また、講演会を実施する。 期間:2月16日～3月21日 31日間 会場:ギャラリー	619,000	
	小計		18,305,000	
	合計		22,145,000	